

平成 2 8 年 第 2 4 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：平成 2 8 年 1 2 月 2 7 日（火）午後 1 時

場 所：教育委員会室

教育長	白 井 正三郎
教育長職務代理者	上 野 操
委員	松 原 秀 成
委員	尾 上 郁 子
委員	石 井 正 治

事務局	教育推進課長	柴 田 靖 弘
	学務課長	川 勝 賢 治
	指導室長兼教育研究所長	市 川 茂
	学校施設担当課長	高 橋 和 彦
	統括指導主事	中 山 兼 一

書 記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	岡 田 隆 史
	同 主査	飯 田 常 雄

白井教育長	<p>開 会 時 刻 午後 1 時</p> <p>ただいまから、平成 2 8 年第 2 4 回教育委員会定例会を開催します。 日程第 1、署名委員を決定します。上野委員と松原委員をお願いいたします。 す。 続いて日程第 2、教育関係事務報告にまいります。 はじめに、教育委員会後援名義使用承認についての報告をお願いいたします。 す。</p>
柴田教育推進課長	<p>教育委員会後援名義等の使用申請一覧をごらんいただきたいと思います。 3 件ございます。3 件通してのご説明でよろしいでしょうか。</p> <p>〔「はい」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それではお願いします。</p>
教育推進課長	<p>1 点目でございます。2 0 1 7 人権のつどい。申請者、人権のつどい実行委員会代表でございます。今回で教育委員会は 1 5 回目の後援名義の申請でございます。同様に江戸川区の後援の申請も出てございます。事業の内容でございます。部落差別の解消に向け何が問われているかを考える場として開催し、区民の人権尊重思想の普及高揚を図るというものです。実施日時、平成 2 9 年 2 月 3 日（金）、会場は、深川江戸資料館小劇場、対象は一般区民、経費の徴収として、参加費 1 , 0 0 0 円の徴収がございます。後援内容でございますが、後援名義の使用でございます。</p> <p>2 点目でございます。第 3 4 回伝統工芸展、申請者は、江戸川伝統工芸保存会の会長でございます。こちらで教育委員会の後援名義は 3 4 回目、同様に江戸川区の後援名義の申請もされております。事業目的、概要でございますが、伝統工芸の保護育成と、伝統工芸作品を広く区民の方に理解し親しんでいただくための作品発表展示会でございます。</p> <p>実施日時、平成 2 9 年 2 月 2 日から 7 日まで、会場はタワーホール船堀展示ホール 1、一般区民を対象とした事業でございます。経費の徴収といたしましては、作品の出品料ということで 5 , 0 0 0 円の徴収、それから、賞状、副賞等でございますが、賞状と盾を提供しています。教育委員会賞ということで、賞状、盾が授与されるものとなっております。</p> <p>続いて、3 点目でございます。第 1 8 回江戸川区管楽器ソロ・アンサンブ</p>

	<p>ルフェスティバル。申請者は、江戸川区吹奏楽連盟理事長でございます。教育委員会の後援名義は18回目。江戸川区における吹奏楽の振興と発展を目的とし、合奏技法の向上により、アンサンブル・ソロの演奏力向上につなげるというものです。</p> <p>実施日時でございますが、29年2月11日(水) 祝日となっております。午前10時から午後8時までの予定です。会場は、総合文化センター大ホール。区内小・中学生、一般区民を対象としております。経費の徴収といたしまして、ソロが1,000円、アンサンブルが1人700円となっております。後援の内容でございますが、後援名義の使用となっております。</p> <p>お手元にそれぞれ2017人権のつどいのチラシの(案)の写しとそれから、第34回伝統工芸展のチラシ(案)そして、第18回のソロ・アンサンブルフェスティバルの実施概要についてのまとめたもの、応募要領でございますが、それをおつけしてございます。以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今、3件お話しいただきましたが、この件につきまして、まとめて、ご質問、ご意見ございましたら、どの順番でも結構でございますので、よろしく願います。</p>
松 原 委 員	<p>1件目の後援なのですけども、江東支部の関係なので、15回目ということで問題はないというふうには思うんですけども、いつも江東支部からの申請ということでいいのですかね。</p>
教育推進課長	<p>この実行委員会を組織している参加団体でございますが、今、お話のとおり部落解放同盟の江東支部となっておりますが、江東支部の範疇が江東区、それから、江戸川区も含まれての江東支部ということでございます。</p>
松 原 委 員	<p>わかりました。</p>
教 育 長	<p>いいですか。他に。</p>
上 野 委 員	<p>今の名前だけど、沿革的には何か意味あったのですか。江東支部という。</p>
教育推進課長	<p>沿革的というよりも、我々もいつも実は人権のことにつきましては、こちらの江東支部さんと年間通しまして3回ほど江戸川区も人権に関しては部落</p>

	<p>解放同盟さんとは交渉、それから予算要求、そういったものも江戸川区も対応しているところでございます。それが江東支部という江戸川区も含めた組織体ということでございますので、江戸川区も江東支部の中に入っているという位置づけになっております。</p>
尾上委員	<p>昨年度もこのような部落解放関係のこういう後援会があったと記憶しているのですけれども、この深川というその場所ですね。というのは私も初めて聞きましたが、今までは江戸川で、江東支部という、そういう感じじゃなくて、江戸川独自でということではなかったですか。</p>
教育推進課長	<p>これまでは、亀戸駅前にありますカメリアホールでずっと開催されていたのですが、今年は会場の都合でということで、変更になっています。</p>
教育長	<p>よろしいですか。</p>
尾上委員	<p>わかりました。結構です。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>他の件でももしございましたら、今、人権のつどいの案についてお話ありましたか。</p>
尾上委員	<p>3点目のソロ・アンサンブルフェスティバルのことなのですが、参加対象というのが、区内の音楽団体所属の小・中・高校生とありますが、ということは、学校で参加するということは全くないのでしょうか。</p>
教育推進課長	<p>一昨年のもので恐縮なのですが、その実績を見ますと、それぞれソロについても学校名というものが全部出ております。小・中学校の全てが名前が出てリストの中に載っております。何々中学校の誰々さんという形でソロは参加されております。そして、アンサンブルについても何々中学校の打楽器六重奏ですとか、そういう形で学校名が出ております。</p>
尾上委員	<p>ということは、学校でそういうふうに申し込みをしてというふうに考えられるわけですね。</p>
教育推進課長	<p>そのとおりでございます。</p>

教 育 長	よろしいですか。
尾 上 委 員	わかりました。ありがとうございました。
教 育 長	他によろしいですか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	なければ、ただいまの報告事項を了承させていただきます。 続いて、平成28年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果報告について、報告をお願いいたします。
市川指導室長	<p>それでは、机上に配付させていただきました平成28年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果報告をごらんいただきたいと思います。</p> <p>まず、表紙に調査の概要を記しました。目的については、そちらにお示ししているとおり児童・生徒の体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証するということが大きくあります。それから、その改善を図るとともにこうした取り組みを通じて、子どもたちの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルというものを確立していこうといったものでございます。ですので、先日、ご報告させていただいた学力とともに、この結果を踏まえて施策について考えていくというのが主な目的になります。</p> <p>調査時期は、これは学校ごとに決めていますので、この年度で申し上げると、平成28年4月から6月の間ということになります。調査対象は、都内の公立学校の全児童・生徒になります。本区におきましては、小学校71校、中学校33校の全校で実施しております。</p> <p>主な調査内容でございますけれども、(4)をごらんいただきたいのですが、まず、児童・生徒に関する調査としまして、体力・運動能力調査がございます。それからもう一つ、質問紙調査として、生活・運動習慣等の実態に関するものを調査しております。それとともに学校に対しても質問紙調査をしております。</p> <p>それでは、概要について説明させていただきたいと思います。まず、1ページをごらんいただきたいと思います。非常に小さい数字がたくさん並んでいてごらんいただきにくいものかなと思いますけれども、概要のみお伝えしたいと思います。</p>

まず、この表の見方なのですけれども、上段が男子、下段が女子となっていて、それぞれ縦に身長、体重のいわゆる体格の調査から始めまして、握力からハンドボール投げ、またはソフトボール投げまでの体力調査、その結果を縦に並べています。横に小学校1年生から中学校3年生までの各学年別のものを軸に持ってきています。それぞれの項目の中で上段が区の平均値、それから、その下が都の平均値になります。網をかけてあるところについては、都の平均値を区の平均値が上回っている種目ということになります。

まず、網をかけたところをごらんいただきたいのですけれども、こちらについては、握力が男女ともに全学年都の平均を上回っている、小学校では男女ともに全学年、握力が都の平均を上回っているような状況でございます。

あとそれから、網がかかってはいないのですが、50メートル走については、全学年都の平均のプラスマイナス0.1秒程度におさまっていて、ほぼ都の平均と同じような状況でございます。それから、女子については、持久力を調べるものとして持久走、それから、20メートルシャトルランという種目があるのですが、こちらについては、小学校2年生当たりから学年が上がるごとにだんだん都との平均の差が広がっているような状況でございます。特に中3になりますと、7.2回、女子の20メートルシャトルランについては、差が出ているというような大きな差が見られています。それから、男子についても、この持久力にかかわる種目については、都との差が著しい状況でございます。ですので、男女ともに本区の子どもたちについては、持久力の向上というのが大きな課題になっております。

それから、全体の体力合計点というのをそれぞれ男子女子の一番下につけているのですが、こちらごらんいただくと、中学校女子の体力合計点が都との差がかなりあります。特に中3女子については、2.3ポイント下回っておりますので、特に女子の体力向上というのが大きな課題になっていることがおわかりいただけると思います。

続きまして、2ページをお願いしたいと思います。2ページからは生活・運動習慣等の調査についてでございます。まず、2ページ、3ページは、2ページが男子、それから、3ページが女子の3項目を抽出しましてデータを掲載しております。

まず、の運動やスポーツをすることが好きですかについてなのですが、こちら、小1から中3まで学年を抽出して掲載しています。こちらをごらんいただくと、学年が上がっていくと、下に行きますと、運動がやや嫌い、嫌いという子どもの比率が増加している傾向があることがおわかりいただけるかなというふうに思います。

それから、それとちょっと比べていただくといいと思いますけれども、番の運動やスポーツをすることが得意ですか、こちらにつきましては、 に比べて数値的に否定的な回答が増えて大きいというような状況にあります。つまり好きなだけけれども、得意かと言われるとなかなか得意とは言いにくいというような子どもたちがいるということがわかりいただけだと思います。それから、 の体育、保健体育の授業は楽しいと思いますかについては、これは、小学校に比べますと中学校で否定的な回答が増えているような状況でございます。

続きまして、3ページの女子をごらんいただきたいのですが、これは男子に比べますと全体的に好きとか得意といったところが多いような状況が見られます。特に 番、運動やスポーツをすることが好きですかについては、男子以上に学年が上がると運動を好まない児童・生徒の割合が増加する傾向が大きいことがわかりいただけかなと思います。さらに、 番の得意ですかという項目については、特に顕著なのが中学校3年生なのですが、約半数がやや不得意、不得意と感じているような状況でございます。こうしたことから男女差はもちろんあるのですが、学年ごとに得意とか好きという子どもたちが増加してしまっているような状況がありますので、こうした課題を解決する手だてが必要かというふうに思われます。

続きまして、4ページ、5ページですが、こちらは主に生活習慣に係る質問になります。それぞれの学年で調査はしているのですが、典型的な例ということで4ページでは小学校5年生を、5ページでは中学校2年生を抽出して掲載しております。

まず、4ページの小学校5年生ですけれども、朝食の有無ですが、こちらは都との比較ということでごらんいただきたいのですが、若干ではあるのですが、毎日朝食を食べる、朝食をとる児童の割合が都の数値を下回っているような状況でございます。

それから、 番、1日の睡眠時間についても、こちら8時間以上睡眠をとっている割合が男子、女子ともに都の数値を下回っているような状況でございます。それから、 番ですが、1日の中で携帯電話、タブレット端末、携帯型ゲーム機やパソコンを使う時間ですが、こちら特に1時間以上使っている児童の割合のあたりを見ていただくと、1時間未満の右側、そちらをごらんいただくと、男女ともに都の数値をかなり上回っていることがわかりいただけかなというふうに思います。例えば男子の場合は、1時間未満のグラフの右端が大体42のところなのですが、都の場合は48.8ですので、ですから、さらに右側の1時間以上の子どもの割合が、都よりも区

のほうが多いということがわかりいただけるかなというふうに思います。

それから、1日当たりの運動・スポーツの実施状況ですが、こちらはほぼ男女ともに東京都と同じような結果になっています。ただ、男女、差異を比較しますと、女子のほうが運動している子どもたちの割合がかなり少ないことがわかりいただけるかなというふうに思います。ですから、特に男子もですけれども、女子については、運動習慣の定着というのが大きな課題になっています。

続きまして、5ページ、こちらは中学校2年生の生徒を対象にしたものなのですが、4ページと同じ項目でございます。こちらは、都との比較ということでごらんいただきたいのですが、朝食の有無については、小学校5年生と同様に若干ではあるのですが、男女ともに都の数値を下回っているような状況です。

それから、の睡眠時間でございますけれども、こちらは大体都と同じような傾向にあるのですが、こちらは男女でちょっと左右で見ていただきたいのですが、女子のほうが8時間以上睡眠をとっている生徒の割合が低い状況でございます。男子の場合は27.0%ですが、女子は20.9%ですので、女子のほうが睡眠が足りない生徒が多いということがわかりいただけるかなというふうに思います。

それから、でございます。パソコン等の時間ですが、こちらについても、小学校と同様に2時間以上使っている生徒の割合をごらんいただきたいのですが、男女ともに都の数値を上回っていることがわかりいただけるかなと思います。

それから、番、1日当たりの運動・スポーツの実施状況ですが、こちらでもまず、都との比較で申し上げますと、男子については、ほぼ都と同じような状況でございます。女子につきましては、2時間以上、一番右側の紫色で記したところなのですが、こちらの割合が都の数値よりも5ポイント以上少ないような状況でございます。ですので、先ほども申し上げましたけれども、特に中学校の女子については、運動習慣ということが大きな課題になっていることがわかりいただけるかなというふうに思います。

最後、6ページ目でございますけれども、こちらは、現在、本区の小・中学校で行っている体力向上にかかわる主な取り組みでございます。既にご案内のとおり小学校では、全校において休み時間における運動遊びを実施しているところでございます。中学校につきましても、一番上に書かせていただきましたけれども、保健体育科の授業で補助運動を実施しています。

この成果なのですが、ちょっと1ページ目に戻っていただきたいのですが、

	<p>ここでは紙面の関係でそれをあらかわせなかったのですが、ちょっと紹介したいデータがございます。先ほど1ページ目で、区の平均が都を上回っているものについて網かけをしましたというご案内をさせていただいたところなのですが、それぞれの学年、それぞれの種目で、昨年度のデータを上回っているところが非常に多くございます。ちなみに、小学校1年生から中学校3年生までの身長からハンドボール投げ、ソフトボール投げまで全部数えますと186個セルがあるのですが、そのうち、昨年度の平均を上回っているものが119カ所のセルがございます。つまり6割以上の項目で昨年度の平均を上回っておりますので、ですから、都との比較となりますと、劇的に網がかかっている項目が増えているわけではないのですが、少しずつ子どもたちの体力という意味では成果が出てきているのかなというところで、今、見ているところでございます。ですので、これを継続することでさらに体力・運動能力が向上できればなと考えているところでございます。説明が長くなりましたけれども、以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。ということですね。今、説明を受けましたが、この件に関しましてご質問、ご意見ございましたらよろしくお願いいいたします。</p>
松 原 委 員	<p>小学校で研究実践校ありますよね。運動と体力向上の、西葛西小学校でしたか、の状況はどうですか。</p>
中山統括指導 主事	<p>西葛西小は、今の研究を進める前の段階のところから少しずつ進めておりまして、成果を出しています。それで、むしろ今の休み時間の取り組み等も西葛西小をモデルとして、全校で実施するということになっております。</p>
松 原 委 員	<p>ありがとうございました。</p>
教 育 長	<p>今年だと第五葛西小でしたよね。そうですね。</p>
指 導 室 長	<p>第五葛西小と小岩小が教育課題実践推進校で今、運動能力に関してはやっているところでございます。</p>
尾 上 委 員	<p>室長の話伺って、徐々に伸びているということによかったなと感じました。あと、もちろん各学校の平均値というのもきっと出ていて、各校にはそ</p>

指導室長	<p>のような形でお知らせはされているのでしょうか。</p> <p>このデータについては、それぞれ学校にも知らせているところですので、もちろん学校が基本的には測定しますので、その時点で学校でも平均は出せるのです。ですから、極端な話、私どもが区の平均を出す前に学校は自分たちの担当、教えている子どもたちの状況を知ってしまして、こちらについても各学校が分析して取り組みをさらに推進していくというのが大事なところかなというふうに思っていますので、そのように周知しているところがございます。</p>
尾上委員	<p>もう一点、すみません。この中で、特に男女とも握力が非常にいいですよ。これはどうしてこうなっているのかなという、そういう何かありますか。こういう結果。</p>
統括指導主事	<p>私どもでもいろいろ分析をしてみたのですが、やっぱりなぜか握力だけは突出して、私もかれこれ10年江戸川は都の平均値を超えている状況でございます。</p>
教育長	<p>握力は体重に比例するのですかね。</p>
尾上委員	<p>体重もありますものね。</p>
上野委員	<p>今、各学校ごとにデータが違うので、学校ごとに対策を検討しているという話が出たのですが、その検討した結果みたいなものは、こちらのほうには集計されてくるのですか。</p>
指導室長	<p>実際に学力向上のように例えば推進プランというのを立てて、それを必ずホームページに掲載して、私どもに情報をというような形では体力に関しては基本的には行ってないです。そういう方法はとっていません。ただ、区全体として補助運動であるとか、後は休み時間の最後ご案内しましたけれども、運動遊び等についてはやっていますので、これ以外の取り組みに関しては、例えば、体育とか保健体育の授業の中でどう指導方法を改善していくというところですので、ですから、今の私どもの方針としては、具体的に、体育の授業をどう変えるかというところまで、細かいところまでは報告させているわけではありません。ただ、各教科、体育だけではないのですけれども、全</p>

	<p>体的に学力、体力向上のためにこういった取り組みをしますかというところで、推進プランという形で報告というかホームページ等に掲載することは推奨していますので、ですから、各学校で当然対策、対応については対応することにはなりますけれども、ただ、一律に同様な方法で報告をさせているわけではないような状況でございます。</p>
上野委員	<p>それと、それに関連してですが、いわゆる生活・運動習慣等について、ちょっと目立っているわけだけど、これに対しては、教育委員会としては何か統一した見解があるのですか。あるいは、各学校からそういうものが出ているか。</p>
指導室長	<p>基本的に各学校、当然例えば、先ほど申し上げたデータの中で、運動・スポーツが好きとか得意とか、後は、生活習慣、朝食とか睡眠時間の部分は当然ばらつきがあるものかなというふうに思います。ただ、体力とか運動能力とかあと生活習慣については、当然望ましい形があると私ども捉えています。ですから、例えば運動習慣に関しては、運動遊びとかそういったことをきめ細かくやるということは、全学校に対して指導・助言はさせていただいているところです。若干、各学校で取り組みとか重点が変わってくる可能性はありますけれども、ただ、学校として望ましい考え方というか、体力・運動能力、特に生活習慣に関しては、当然、規則正しいほうがいいという基本的な考え方は一致しているものというふうに思いますので、特にこの学校だからこういうふうにしてくれとかという形ではなくて、全校に対してこうあるべきだという話で説明するものが大事なのかなというふうに捉えていますので、そういった発信をしているところでございます。</p>
尾上委員	<p>感じる点なのですが、実は、学校によって運動場の広さが随分違いますね。運動会に行っても、80メートルも真っすぐとれない。100メートルなんか特にとれないような学校もございます。そういう中で子どもたちの運動能力とか測定もそうかもしれませんけど、カーブと直線走るのとは全然違うだろうと思うし、そういう運動的なものにかかわり、なんか運動場の広さというのはかかわりあるのかなと思います。もう一つは、中学校ぐらいになると、クラブ活動が随分違いますよね。運動部なんか意外にないところもあるし、そういう部分の中で、子どもたちの体力とかというものが随分違って来るかなと、そんな感じがするときがあるのです。それに対してはどうでしょうね。</p>

指導室長	<p>これは実際に分析したデータがあるわけではないのですが、私もかつていた学校の中で、非常に狭い校庭なのですが、でも、子どもたちの体力がなかったかということそんなことはなかったり、あと、かえって広い校庭だからというわけではないのですが、広い校庭の学校にいたときもあるのですが、じゃあ、そのときの子どもたちが決して体力がすごかったかということ決してそうでもないです。ですので、一概にはなかなか校庭の面積の大小で体力とかということは恐らくないんじゃないかなと思います。それよりも大事なのは、この調査にもありますけれど、運動が好きとか運動に親しむとか運動を身近に感じるかとか、そっちの意識のほうが多分大事なんじゃないかなと思います。ですから、当然学校の校庭だけではなくて、子どもたち、放課後とか、家にいるときに公園で遊んだりとかいろいろなことをしていますよね。ですから、恐らくそういったさまざまな習慣がこういったものに関係するんじゃないかなと思います。</p> <p>ただ、先ほど部活動のお話もされましたけれども、ただ、これは東京都全体の課題でもあるのですが、特に中学校の場合は、運動系の部活動に入っている子どもたちの体力・運動能力と運動系の部活動に入っていない子どもたちの体力・運動能力の差がかなり歴然としているのですね。ですから、これは本区の課題でもあるのですが、運動部に入っていない子どもたちが、いかに運動に親しみを持って日常的に体を動かす習慣をきちんと持つかということが大事なのかなというふうには思います。ですから、これは単純に体育の授業だけの話ではなくて、特に大人になってからとか生涯運動とかスポーツに親しむ、親しまないと関係してくることですので、ですから、そういったところもこれからの学校は考えていかなきゃいけないのかなというふうには思っているところです。</p>
教 育 長	よろしいですか。
尾 上 委 員	わかりました。ありがとうございました。
石 井 委 員	まず、簡単なところから、1ページ目の体力合計点というのは、これはどうやって出てくるものなのでしょうか。
指 導 室 長	これは小学校・中学校ごとに得点の換算表というのがあります。ですので、例えば一例を申し上げますと、小学校の場合は、先ほど握力のお話が出ました

	<p>ので、握力で紹介させていただくと、これは男子、女子、表が違うのですね。例えば、小学校男子の握力の場合、26キログラム以上の場合は得点が10になります。</p>
石井委員	<p>なるほど。そういうようなことが全部にあると。</p>
指導室長	<p>種目ごとに得点の表が違いますので、それを積み重ねるとこの体力合計点になるということでございます。</p>
石井委員	<p>わかりました。二つ目は、これはお願い事になるかなと思うのですが、こういう種類の統計は、言ってみれば一つのビッグデータだと思うのです。一つの項目についてみるのではなく、ある項目と別な項目、どこか関連している項目があるのかな、ないのかなという見方をさせていただくと、例えば運動好きを増やすには、実は運動が好きとか嫌いというのは、こういう項目とリンクしているというのが別途見えてくれば、それだったら、例えば、パソコンを使う時間を少なくしましょうというようなことも含めて相関性が見えてくる、あるいは来た中でもって総合的にサジェストするというようなことがいいかなと思うのですが、そういうようなお考えはいかがでしょうか。</p>
指導室長	<p>各学校からどういうローデータを集めているかを確認しないと確実にお約束はできないのですが、ただ、おっしゃるとおり、例えば、学力調査等もよく使われるのが朝食を食べている子どもたちと食べていない子どもたちの平均正答率の差とかクロスでよく出しますよね。ですから、そういったような状況と一緒にだと思いますので、こちらについても、やはり運動習慣と体力を結びつけるとか、それこそ先ほどの握力の話ではないですけど、本区において握力の割と大きい数値が出せる子どもたちとそうでない子どもたちにどういった生活習慣の差があるというのは、もし調べられるとしたら非常に価値があるというふうに思いますので、ちょっとデータ等を見て可能性を探っていききたいなというふうに思います。</p>
石井委員	<p>お願いします。</p>
教育長	<p>よろしいですか。石井委員。</p>
石井委員	<p>はい。</p>

松原委員	<p>4ページ、5ページの朝食とやはりSNS、スマートフォン関係、この結果がやっぱり本区の場合にはちょっと多いというふうに思うのですよね。今、ルールづくりというのをやっていますよね。先般、学力調査のときに、瑞江二中さんが文教委員会の中で発表していただいて、前年度はかなりいいレベルまで行ったのですが、この辺の朝食が一番大事な部分で、中学生は男子で3.5、全く食べていないですよね。こういう部分、それから、スマホもそうなのですが、都に比べて非常に1時間以上使っている子どもたちが多いというようなことも言えますので、この辺をやっぱりちょっとアクションしていく必要があるなというふうに思うのです。親御さんにもこういったデータをちょっと理解してもらって、PTA、連合PTA会でもいいですけど、ちょっとやっていければなと思いますね。</p>
指導室長	<p>こちらのデータ等については、区のホームページにも掲載することを考えています。それから、先ほどのお話のとおり校長会等でも事あるごとにこういったものを活用して周知徹底をしていきたいなというふうに思います。後は、当然、各学校もそれぞれやってはいるのですが、保護者に対する啓発というか、そのあたりがとても重要になりますので、例えば保護者会とかあと、学校だより等さまざまな機会でも、やはり親御さんにも発信していただくことは大事ななというふうに思います。</p>
教育長	<p>私から一つ質問していいですか。186項目のほうは数字が上がってきているということなのだけど、江戸川区っ子家庭ルールは、去年の11月ぐらいから始めたのです。それで、スマートフォンとかタブレット端末使っている時間なのだけど、江戸川区見てよくなってきていないですか。つまり、よくなってくるといのは、長く使っている子が少なくなっているとか、そういうデータはないですか。いや、なっているはずなのですよ。本来これが機能していれば。そうですよね。これだけじゃなくて、睡眠時間だってちゃんととっている子が増えているはずなのです。出ていないですか、その数値的なものは。</p>
指導室長	<p>すみません。実は、指導室のデータとしてはあります。ですので、昨年度と比較することはできます。ただ、ちょっと今、手元に全てのローデータがあるわけではないので、ちょっと今、ここでご紹介はできないのですが、比較したデータについては、また別途お示しさせていただきたいなとい</p>

<p>教 育 長</p>	<p>うふうに思います。</p> <p>皆さん、ご存じの、新聞にも評価されましたけどね。この運動・スポーツで言うと、実は28年の4月、6月に調査しているので、まだ運動の結果が出るのは割と早かったと思うのです。このころ、学力もそうだったですけど、補習も始めたばかりで。ですから、正直な話、来年ぐらいがちょっとこれ、期待かなと思っているのですけどね。でも、スマートフォンなんかだと今年もう数字出ていていいかなと思うので、じゃあ、この次に教えていただいてもいいですか。</p>
<p>指 導 室 長</p>	<p>わかりました。ちょっと昨年度との比較ということで。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>江戸川区だけの比較してみると、もしかしたら出ている。出ていなかったら余り機能していないですよ。だから、機能させなきゃいけないですね。</p>
<p>指 導 室 長</p>	<p>わかりました。次回、ご紹介させていただきたいと思います。</p>
<p>石 井 委 員</p>	<p>すみません。今、気がついたことがあったのですが、江戸川区は公園ですとか、それから、道路の整備がすごくいいですよ。ということは小学生・中学生が自転車に安全に乗れる状況がそろっている、自転車に乗って、どうということかなという、ぐっとハンドルを握る、それで握力が強いんじゃないかなと。なんかふっと思いました。</p>
<p>上 野 委 員</p>	<p>あり得ますね。そういうところからなんか出てくるんじゃないかもしれませんね。なぜ江戸川区の生徒だけがこうなのだろうということだけじゃ余り意味ないですね。</p>
<p>石 井 委 員</p>	<p>よくわかりませんが、子どもたちに自転車持っていますか、1日にどのくらい自転車乗りますかという質問ともしかすると結構リンクしているかもしれないですね。</p>
<p>上 野 委 員</p>	<p>連動しているかもしれませんね。そういうことを感じるのですよ。あらかじめの項目だけで比較して点数つけてこうやるというよりも、一応は尊重しますよ。ご苦労なさっているのだから。</p>

教 育 長	あと、この表なのですが、イコールが割と多いですね。だから、白と黒、グレーなのですが、イコールの項目は薄くグレーかなんかにしておいたらどうでしょう。
石 井 委 員	あるいは、都と同等以上の種目ですとか。
教 育 長	よろしいですか。いいですか、委員の皆さん。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、他にないようですので、ただいまの報告事項を了承いたします。他になければ、以上をもちまして、平成28年第24回教育委員会定例会を終了いたします。 お疲れさまでございました。 閉会時刻 午後1時50分